

三年	単元	年組番	
課題解決に向けて話し合おう		氏名	

話し合いの種類

グループでの話し合い

- ① バズ・セツション：四〜六人程度の人数で話し合う。
- ② ブレーンストーミング：相手の意見を否定せず、少人数で自由に意見を出し合う。全体での話し合い
- ③ パネル・ディスカッション：聴衆の前で、数人の発言者が討論する。
- ④ シンポジウム：複数の専門家がテーマについて意見を述べ、聴衆が質疑応答をする。
- ⑤ デイベート：賛成・反対などの立場に分かれ、ルールに従って発言し、相手を説得する。

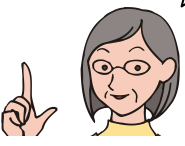
話し合いのポイント

- ① 話題を明確にする。
- ② 聞き手が関心をもてるように、呼びかけたりゆっくり話したりして声の調子に気を付ける。
- ③ 聞いてわかりにくい言葉は使わない。
- ④ 具体例を用いてわかりやすくする。
- ⑤ 必要に応じて、資料や実物を示す。
- ⑥ 意見や結論は、できるだけ簡潔に明確に示す。
- ⑦ 根拠や理論に裏付けされた意見を述べる。
- ⑧ 司会者は、公平な立場で進行させる。

話し合いでは、聞き手も大切です。話し手が、強調したり繰り返したりしたところをつかみましょう。また、意見と根拠も聞き分けてみましょう。



そして、もちろん、司会役も重要です。的確な指示を出さないと、話し合いがうまく進行しないわね。



単 元		年 組 番		8問
三年 課題解決に向けて話し合おう	氏 名			

1 次の話し合いについて、その「方法」と「利点」をあとの語群からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- (1) バズ・セッション 答 方法 () 利点 ()
- (2) パネル・ディスカッション 答 方法 () 利点 ()
- (3) デイベート 答 方法 () 利点 ()

方法

ア 賛成か反対かの立場に分かれて、ルールに従い発言する。
 イ 四〜六人程度の少人数で話し合う。
 ウ 多くの聞き手の前で、数人の発言者が討論する。

利点

エ 個々の意見を十分に検討することができる。
 オ 一つのテーマをさまざまな角度から検討できる。
 カ 広い視野の意見や考えを得ることができる。

2 話し合いをするとき、司会者の立場として不適切なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

答 () ・ ()

ア 初めに話し合いのテーマや目的を示す。
 イ 多数派の意見を尊重し、発表の機会を多く与える。
 ウ 話題が外れたときは、方向を修正する。
 エ 大切などころで意見を整理し、論点を要約する。
 オ 積極的に自分の意見を述べて、話し合いに参加する。

三年	単元	年	組	番	
課題解決に向けて話し合おう		氏名			
9問					

1 次の校内放送について、あとの各問いに答えなさい。

今日の放課後、図書室で図書委員会を開きます。議題は、「購入希望図書」についてです。図書委員は、各学級に頒布したアンケートを回収して持ってきてください。それを集計します。

- (1) 「頒布した」を聞き取りやすい言葉に直しなさい。 答 ()
- (2) 「それ」とは何か、具体的に述べなさい。 答 ()
- (3) 放送するときの注意点について、次の () に入る言葉をあとから選び、記号で答えなさい。
- 聞き取りやすいように、(①) () を調節し、意味が分かりやすいように(②) を設けて、抑揚や(③) () にも注意して話す。

ア 間 イ アクセント ウ 声の大きさ

2 次の話し合いの一部を読んで、あとの各問いに答えなさい。

司会 では、話し合いを始めます。まず、黒沢さんからお願ひします。

黒沢 私は、携帯電話を学校に持って来てもいいと思います。なぜなら、部活動で遅くなるときに家に連絡したいことがあるからです。

司会 次に、大島君お願いします。

大島 家に連絡するには便利だけど、授業中に遊びたくなるかもしれないし、電源を切ればいいけど、メールも気になるからなあ…

村上 で、結局どっちなの？ さっぱりわからないよ。

(1) この話し合いのテーマは何か。二十字以内で答えなさい。

答 ()

(2) 大島君の意見が正しく伝わる方法について、次の文の () に入る言葉をあとのア～オから選び、記号で答えなさい。

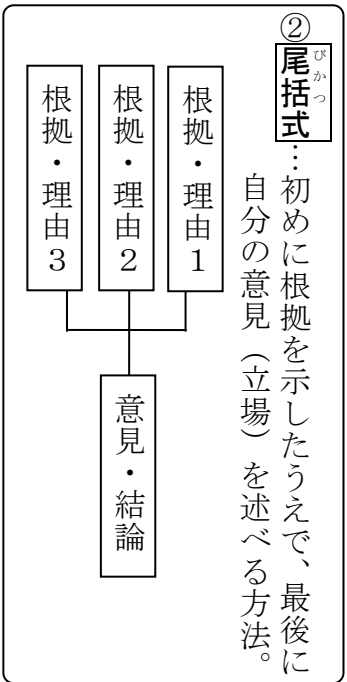
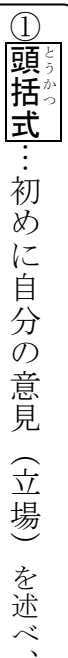
- まず自分の(①) () を明確にし、その意見を理解してもらうために(②) () を述べる。
- ア 話題 イ 具体例 ウ 根拠 エ 説得 オ 立場

(3) 村上君の発言のあとで、司会者は何と言うべきか。二十字以内で答えなさい。

答 ()

三年 説明文を読む	単元名	年 組 番
氏 名		

説明的文章の構成には、結論の位置によって3つのパターンがある！



頭括式は、筆者が、
 ○ 結論を先に示した方が、説得しやすいと思う場合、
 ○ 結論が優れている、と自信をもっている場合、
 ○ すぐに結論を伝えたい場合、
 などに有効です。

尾括式は、読者にじっくり最後まで読んでもらいたい場合の書き方に向いていますよ。



わたしは説明的文章を読むことが苦手で、どこに作者の意見がまとめられているか、よく読んでみないと、これまでではよくわからなかったんだけど、この形式を使って書かれている場合が多いことを知っていれば、見当がつくわ。
 説得力のある意見文を書くときにも、この三つのパターンはきつと役に立つわね。そして書いた後は、読み手の立場に立って読み返して確認し、推敲することが必要なのね。



チャレンジシート② 基本1

問題

学習日

年

月

日

三年 説明文を読む	単元名	氏名	年組番	3問

1 次の文章を読んで、(1)・(2)の中に入る言葉を文章中から書き抜きなさい。

小見出し

語は「(1)」「(2)」が命

国語辞典で「休憩」をひくと、「休息」とも書いてある。ほとんど同じ意味、と書かれているのだ。しかし、「休憩」と「休息」では感じ方が少し違う。

もし、あの有名なフランス映画の題名「戦士の休息」が、「戦士の休憩」と訳されていたら、なにか間の抜けた感じがする。

「(2)」が違うからだ。

約1万語についての「語感」、その語が持つニュアンスを説明する辞書が「語感の事典」だ。著者の中村さんは、その「まえがき」でこんなふうに書いている。

「休憩」か「休息」か迷ったとき、「休み」と書けば、微妙な違いに悩まされはしない。だが、「休み」で済ませるのは、松も柳もクスノキも無差別に「(3)」と片付けるような荒つぽさで現実を切り取ったことになる。自分の伝えたい意味合いを正確に表すのにもっとも適切な表現を探そう。

文章を書く際、「語感」を確認しながら言葉を探せる辞典だ。文学作品の用例も多く、読みがある。同時に、報告書や依頼書、企画書など書くことを毎日求められる仕事、つまり普通の会社員にも便利な一冊だろう。

(1)

(2)

2 (3)に入る語を考えて答えなさい。

(3)

※ヒント

(1)は、(2)より長めの言葉、(2)は2字、(3)は1字です。

チャレンジシート② 基本2

問題

学習日

年

月

日

三年 説明文を読む	単元名	年 組 番	4問
氏 名			

次の会話を読んで、あとの問に答えなさい。

キッタ君 日本新型ロケットが打ち上げられるんだって？
 シュウちゃん 個体ロケットの「イプシロン」だね。宇宙航空研究開発機構が開発したんだよ。太陽系の惑星を観測する衛星を積むんだ。

キッタ君 どこが新しいの？
 シュウちゃん イプシロンは探査機「はやぶさ」を打ち上げたことで知られる「M5」ロケットの後継機なんだ。部品を減らして組み立ての時間を削ったり、打ち上げ前の点検作業はロケットに積み込んだ人工知能に自動でやらせたり、大幅に省力化したんだよ。

キッタ君 賢いロケットに、お任せなんだね。
 シュウちゃん そう。打ち上げの管制はパソコン2台で準備に1か月以上もかかったのに、イプシロンは6日間で済むんだって。打ち上げ費用はM5の半分以下だよ。

キッタ君 ロケットにはH2Aもあるけど、どう違うの？
 シュウちゃん H2Aは液体燃料を使うんだ。推力が大きいので大きな荷物を運べるよ。イプシロンは固体燃料を使うんだ。これは、H2Aの固体補助ロケットを流用したものだ。構造が簡単で運用しやすく、信頼性も高いんだ。

問1 イプシロンの特徴は何か。漢字三字で書き抜きなさい。

答 () () ()

問2 どこが新しいのですか。文章中の言葉を使って二つ答えなさい。文末は、終止形にすること。

答

答

問3 どう違うのとあるが、違いは何か。「〜こと。」「」の形で答えなさい。

答

※ヒント 問2、問3は、シュウちゃんの言葉の中から探してみよう。

単元名	年組番	1問
三年 説明文を読む	氏名	

次の文章を読んでふさわしい題名を考えて答えなさい。

麻布大学教授の高槻成紀たかつきせいきは野生動物と人間の共存という視点で研究している。彼は原発事故と野生動物について講演をしたことがあり、その中で、動物に蓄積された放射能の測定結果をもとに、獣医師の現場から影響を鋭く警告した。

その後、日本哺乳類学会の溝口氏から「国際原子力機関とイノシシの調査をするので協力してほしい」と言われ、迷わず引き受けた。東北の阿武隈山系の自然の美しさをよく知っており、原発事故直後から、何か貢献できないかと思っていたからだ。

食べ物と被ばくとの関係を調査した。チェルノブイリ事故データを調べると、イノシシの体内被曝は年を追うごとに低下せず、上がった例もある。その理由は、現在、放射性物質が地下10センチのところまで浸透しているのだが、イノシシは、その地中10センチに育つキノコを掘り返して食べるからだ。日本でもイノシシの数値は上がる傾向にある。こうした調査を幅広くやれば、環境への放射能物質の影響を予想する手がかりになる。

国際原子力機関の専門家会議が福島県であった。動物の肉が食べられない。観察したり記録したりする調査の継続が必要―。高槻は福島県の説明をきいて、どこか人間中心の身勝手さを感じた。

「動物を食べ物として見るだけではなく、人間が自然の破壊者だという視点が大切だ。その反省の上で何を世界に発信するかを考えるべきだ」

目先の成果も大事だが、地球史的な長い目で記録を残す意味を確認しておきたかった。高槻は「動物にとって、私たちは加害者なんです」と言った。

答

チャレンジシート② 基本1

問題

学習日

年

月

日

三年 説明文を読む	単元名	年 組 番	3問
	氏 名		

1 次の文章を読んで、(1)・(2)の中に入る言葉を文章中から書き抜きなさい。

小見出し

語は「(1)」「(2)」が命

国語辞典で「休憩」をひくと、「休息」とも書いてある。ほとんど同じ意味、と書かれているのだ。しかし、「休憩」と「休息」では感じ方が少し違う。

もし、あの有名なフランス映画の題名「戦士の休息」が、「戦士の休憩」と訳されていたら、なにか間の抜けた感じがする。

「(2)」が違うからだ。

約1万語についての「語感」、その語が持つニュアンスを説明する辞書が「語感の事典」だ。著者の中村さんは、その「まえがき」でこんなふうに書いている。

「休憩」か「休息」か迷ったとき、「休み」と書けば、微妙な違いに悩まされはしない。だが、「休み」で済ませるのは、松も柳もクスノキも無差別に「(3)」と片付けるような荒つぽさで現実を切り取ったことになる。自分の伝えたい意味合いを正確に表すのにもっとも適切な表現を探そう。

文章を書く際、「語感」を確認しながら言葉を探せる辞典だ。文学作品の用例も多く、読みがある。同時に、報告書や依頼書、企画書など書くことを毎日求められる仕事、つまり普通の会社員にも便利な一冊だろう。

(1)

(2)

2 (3)に入る語を考えて答えなさい。

(3)

※ヒント

(1)は、(2)より長めの言葉、(2)は2字、(3)は1字です。

チャレンジシート② 基本2

問題

学習日

年

月

日

三年 説明文を読む	単元名	年 組 番	4問
氏 名			

次の会話を読んで、あとの問に答えなさい。

キッタ君 日本は新型ロケットが打ち上げられるんだって？
 シュウちゃん 個体ロケットの「イプシロン」だね。宇宙航空研究開発機構が開発したんだよ。太陽系の惑星を観測する衛星を積むんだ。

キッタ君 どこが新しいの？

シュウちゃん イプシロンは探査機「はやぶさ」を打ち上げたことで知られる「M5」ロケットの後継機なんだ。部品を減らして組み立ての時間を削ったり、打ち上げ前の点検作業はロケットに積み込んだ人工知能に自動でやらせたり、大幅に省力化したんだよ。

キッタ君 賢いロケットに、お任せなんだね。

シュウちゃん そう。打ち上げの管制はパソコン2台で準備に1か月以上もかかったのに、イプシロンは6日間で済むんだって。打ち上げ費用はM5の半分以下だよ。

キッタ君 ロケットにはH2Aもあるけど、どう違うの？

シュウちゃん H2Aは液体燃料を使うんだ。推力が大きいので大きな荷物を運べるよ。イプシロンは固体燃料を使うんだ。これは、H2Aの固体補助ロケットを流用したものだ。構造が簡単で運用しやすく、信頼性も高いんだ。

問1 イプシロンの特徴は何か。漢字三字で書き抜きなさい。

答 ()

問2 どこが新しいのですか。文章中の言葉を使って二つ答えなさい。文末は、終止形にすること。

答

答

問3 どう違うのとあるが、違いは何か。「〜こと。」の形で答えなさい。

答

※ヒント 問2、問3は、シュウちゃんの言葉の中から探してみよう。

単元名	年組番	1問
三年 説明文を読む	氏名	

次の文章を読んでふさわしい題名を考えて答えなさい。

麻布大学教授の高槻成紀たかつきせいきは野生動物と人間の共存という視点で研究している。彼は原発事故と野生動物について講演をしたことがあり、その中で、動物に蓄積された放射能の測定結果をもとに、獣医師の現場から影響を鋭く警告した。

その後、日本哺乳類学会の溝口氏から「国際原子力機関とイノシシの調査をするので協力してほしい」と言われ、迷わず引き受けた。東北の阿武隈山系の自然の美しさをよく知っており、原発事故直後から、何か貢献できないかと思っていたからだ。

食べ物と被ばくとの関係を調査した。チェルノブイリ事故データを調べると、イノシシの体内被曝は年を追うごとに低下せず、上がった例もある。その理由は、現在、放射性物質が地下10センチのところまで浸透しているのだが、イノシシは、その地中10センチに育つキノコを掘り返して食べるからだ。日本でもイノシシの数値は上がる傾向にある。こうした調査を幅広くやれば、環境への放射能物質の影響を予想する手がかりになる。

国際原子力機関の専門家会議が福島県であった。動物の肉が食べられない。観察したり記録したりする調査の継続が必要―。高槻は福島県の説明をきいて、どこか人間中心の身勝手さを感じた。

「動物を食べ物として見るだけではなく、人間が自然の破壊者だという視点が大切だ。その反省の上で何を世界に発信するかを考えるべきだ」

目先の成果も大事だが、地球史的な長い目で記録を残す意味を確認しておきたかった。高槻は「動物にとって、私たちは加害者なんです」と言った。

答

単元		年	組	番
三年 古文・漢文の基礎の復習		氏名		

古文の基礎へ歴史的仮名遣いへ

- ① 語頭以外のハ行音はワ行音に変えるべし！
- ② 「ゐ」「ゑ」「を」は「い」「え」「お」に変えるべし！
- ③ 「ぢ」「づ」は「じ」「ず」に変えるべし！
- ④ 「ゝむ」は「ん」に変えるべし！
- ⑤ 母音が「あ」＋「う」「ふ」は母音が「お」＋「う」「ふ」に変えるべし！
- ⑥ 「くわ」「ぐわ」は「か」「が」に変えるべし！

漢文の基礎へ返り点へ

- ① レ点…すぐ下の一字から上に返って読むことを示す。
 ② ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
 レ ② ① ③ ② ① ③ ② ①
 ② ① ③ ② ④ ③ ② ① ④ ③ ② ① ⑤ ④ ③ ② ①
 ③ 上下点…レ点や一・二点だけでは不足する場合に付ける。
 ⑦ ③ ① ② ⑤ ④ ⑥
 下 二 一 一 一 上
- ② 一・二点…二字以上上下を読んでから、上に返って読むことを示す。
 ③ ① ② ④ ③ ② ① ⑤ ④ ③ ② ①
- ③ 上下点…レ点や一・二点だけでは不足する場合に付ける。
 ⑦ ③ ① ② ⑤ ④ ⑥
 下 二 一 一 一 上

基礎をしっかりと理解しておけば、古文も漢文も読むことはできますね。



まずは正しく読むこと。それが、古文や漢文の理解の第一歩ですね。



三年 古文・漢文の基礎の復習		単元
氏名	年 組 番	
1 2 問		

1 次の古文を、歴史的仮名遣いに気を付けて、声に出して正しく読みなさい。歴史的仮名遣いを含む部分には 〃 を引いているので、現代仮名遣いに直して、その右側にすべてひらがなで書きなさい。

万よろのことは、月みるにこそ、慰むものなれ。ある人の、月ばかり面白きものはあらしと言ひしに、またひとり、露こそあはれなれとあらしひしこそ、をかしけれ。折をりにふれば、何かはあはれならざらん。(「徒然草」第二十一段より)

2 次の(1)～(5)を数字通りの順で読む場合、必要な返り点を書き入れなさい。

- | | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| (1) | 3 | 2 | 1 | |
| (2) | 3 | 1 | 2 | 。 |
| (3) | 4 | 2 | 1 | 3 |
| (4) | 1 | 5 | 3 | 2 |
| (5) | 6 | 3 | 2 | 1 |
| | 3 | 2 | 1 | 4 |
| | 2 | 1 | 3 | 5 |
| | 1 | 4 | 4 | 。 |
| | 4 | 5 | 。 | 。 |

単元	三年 万葉・古今・新古今	氏名	年組番

三代和歌集の比較

歌集	成立年代	主な選者	特徴	歌風
万葉集	奈良時代	大伴家持ら	・現存する最古の和歌集 ・二十巻・約四千五百首	素朴な感動を生 き生きた歌う。
古今和歌集	平安時代	紀貫之ら	・最初の勅撰和歌集 ・二十巻・約千百首	技巧を凝らし、繊 細優美に歌う。
新古今和歌集	鎌倉時代	藤原定家ら	・八番目の勅撰和歌集 ・二十巻・約千九百八十首	自然美や繊細な 感情を象徴的に 歌う。

和歌の表現技法

○枕詞まくらことば：特定の語の前に置き、調子を整える言葉。多くは五音であり、普通は訳さない。「万葉集」に多い。

○序詞はなむけ：ある語句を引き出すための前置きの言葉。後に続く語句は決まっていない。省略せずに訳す。「万葉集」「古今和歌集」に多い。

○掛詞かけことば：一つの語に二つの同音の意味を重ねる技法。「古今和歌集」「新古今和歌集」に多い。



〈主な枕詞〉
あをによし―奈良
あかねさす―日・紫・君
あしひきの―山・岩
いはばしる―滝・垂水
からころも―着る・裾
しろたへの―袖・衣・雪
たちちねの―母
ちはやぶる―神
ひさかたの―光・天・雲

時代によって生活や価値観などが違うから、和歌の特徴も変わってくるんですね。



そうですね。でもよく見ると、今の私たちにもつながるものの方や考え方もあって、共感できるものもたくさんあるんですよ。



三年 万葉・古今・新古今	単元	氏名	年組番
6問			

1 次の特徴をもつ和歌集を漢字で書きなさい。

(1) 最初の勅撰和歌集で、平安時代に成立した和歌集。

答

(2) 鎌倉時代に、藤原定家らによって編集された和歌集。

答

(3) 現存する最古の和歌集で、素朴な感動を生き生きと歌っているものが多い。

答

2 次の語の前に置き、調子を整える枕詞を から選びなさい。

(1) 光・天・雲

答

(2) 山・岩

答

(3) 母

答

ちはやぶる	いはばしる	あしひきの
たらちねの	ひさかたの	からころも

単元	年組番	6問
三年 万葉・古今・新古今	氏名	

次の和歌と現代語訳を読んで、それぞれの 部に使われている表現技法を答えなさい。

(1) 花の色は 移りにけりな いたづらに
わが身世にふる ながめせし間に

答

(現代語訳) 桜の花もわたしの容姿も、すっかり色あせてしまった。長雨を眺めて、わたしが恋の悩みにぼんやりと日を過ごす間に。

(2) ちはやぶる 神代もきかず 竜田川
からくれないゐに 水くくるとは

答

(現代語訳) こんな奇妙なことは神代の昔にも聞いたことがない。竜田川の水を(流れる紅葉が)深紅のしぼり染めにするなどとは。

(3) 大江山 いく野の道の 遠ければ
まだふみもみず 天の橋立

答

(現代語訳) 母のいる丹後へ行く道は、大江山や生野があつて遠いので、まだ天の橋立を踏んだこともなく、母の文も読んでいません。

(4) 御垣守 衛士のたく火の 夜は燃え
昼はきえつつ 物をこそ思へ

答

(現代語訳) 御所の門衛がたくかがり火のように、わたしの心も夜は恋の炎が燃えさかり、昼は消えてしまつて物思いに沈んでいます。

(5) ひさかたの 光のどけき 春の日に
しづ心なく 花の散るらむ

答

(現代語訳) 日の光ものどかな春の日に、桜の花はどうして落ち着いた心もなく、こんなにあわただしく散り急ぐのでしょうか。

(6) 瀬を早み 岩にせかるる 滝川の
われても末に 逢わむとぞ思ふ

答

(現代語訳) 瀬が速くて岩にせきとめられた滝川の急流のように、たとえ一度は二手に裂かれても、行く末には再び必ず会おうと思う。

三 年「言語事項」	単 元	氏 名	年 組 番	問

慣用句

二つ以上の言葉が結びついて、もともとの言葉の意味とは別の意味を表すものを、**慣用句**という。

○体や心に関係のある言葉を使った慣用句

- ・頭が下がる……人の行いなどに敬服する。
- ・胸を張る……得意になり、堂々と振る舞う。
- ・心に刻む……忘れないようにしっかりと覚えておく。

○自然に関係のある言葉を使った慣用句

- ・水に流す……過去の争いごとなどに、こだわらない。
 - ・風の便り……どこからともなく伝わってくる話。
- 動植物に関係のある言葉を使った慣用句
- ・すずめの涙……とても少ない様子。
 - ・花を持たせる……相手を立てて手柄を譲る。

慣用句は、身近な物事に関係のある言葉を使ったものが多いですよ。



ことわざ・故事成語

ことわざ

古くから世間で言いならわされてきた、生活上の知恵や教訓が込められた言葉のことをわざという。

- ・猿も木から落ちる……その道に熟練した人でも、時には失敗するというたとえ。
- ・転ばぬ先のつえ……しっかりと準備をしておけば、失敗しないというたとえ。

故事成語

中国の古典に由来し、歴史的な事実や言い伝えをもとに作られた言葉を**故事成語**という。

- ・他山の石……他人のどんな言動も自分を高める助けとなる。
- ・温故知新……昔の事柄に学んで新しい知識を売ること。

ことわざは、誰もが共感できるようなたとえで表されたものが多いですよ。



※慣用句やことわざ、故事成語の中には、本来の意味が忘れられ、誤った意味で使われることが多くなくなったものもあります。誤った使い方をすることによって、自分の言いたいことが正しく相手に伝わらなくなるので、注意しましょう。



三 年「言語事項」	単 元	氏 名	年 組 番	15 問

1 次の文の()に当てはまる言葉を後から選び、答えなさい。

- (1) 毎日丁寧に掃除をする彼に、()が下がる。
- (2) 彼は、みんなの反対を()であしらった。
- (3) ここであきらめたら、今までの努力が()のあわになる。
- (4) ()にたこができるくらい、「勉強しなさい」と言われる。
- (5) 試験の結果を()を長くして待つ。

首 目 手 頭 耳 鼻 胸 水 湯 空

2 次のことわざの()に当てはまる動物名を下から選び、答えなさい。

- (1) ()の手も借りたい
- (2) 捕らぬ()の皮算用
- (3) ()も歩けば棒に当たる
- (4) ()の耳に念仏
- (5) 二()を追う者は一()をも得ず

鶴 犬 狸 猫 馬
牛 亀 兎 鯛 豚

3 次の意味をもつ故事成語を、下から選び、記号で答えなさい。

- (1) 人生の幸福や不幸は予測できないこと。()
- (2) 文章の内容を練り直すこと。()
- (3) 本質的には大差ないこと。()
- (4) 余計なもの。()
- (5) 苦勞して勉學に励み、成功すること。()

ア 画竜点睛
イ 塞翁が馬
ウ 大器晩成
エ 蛇足
オ 蛍雪の功
カ 推敲
キ 五十歩百歩

三年「言語事項」	単元	年 組 番	15 問
氏 名			

1 次の文に当てはまる慣用句はどちらですか。記号で選びましょう。

- (1) あなたの意見は、(ア) 的を得て イ 的を射ている。
- (2) ここでひとまず仕事の(ア) けりをつけ イ きりをつけよう。
- (3) 彼の弁解に(ア) 頭をかしげる イ 首をかしげる。
- (4) よい考えはないかと(ア) 知恵をしぼる イ 知恵をつける。
- (5) 人々の(ア) 頭を打つ イ 胸を打つ(感動的な映画だ。

2 次のことわざと似た意味のことわざを下から選び、記号で答えましょう。

- (1) ちょうちんに釣り鐘 ()
- (2) 泣きつ面に蜂 ()
- (3) 猿も木から落ちる ()
- (4) 紺屋の白ばかま ()
- (5) ぬかにくぎ ()

ア	弘法も筆の誤り
イ	月とすっぽん
ウ	弱り目に祟り目
エ	医者の不養生
オ	のれんに腕押し

3 次の意味を表す故事成語として、正しいほうに○をつけましょう。

- (1) 仲の悪い者同士が、困難に対して協力すること。 四面楚歌 () 呉越同舟 ()
- (2) 目先の違いにこだわり、結果が同じであることに気づかないこと。 朝令暮改 () 朝三暮四 ()
- (3) 現在の状況がわからず、見通しが立たないこと。 五里霧中 () 無我夢中 ()
- (4) 悪者などを一度に残らずとらえること。 一石二鳥 () 一網打尽 ()
- (5) 他人のとるに足らない言動でも、自分の向上の助けになること。 切磋琢磨 () 他山の石 ()

単元名		年 組 番
三年 物語・小説（描写・表現）		
氏名		

◇物語文の読み取りをするときの要素を復習しましょう。
◇描写・情景や人の気持ちを表現している個所に注意して読み取ることが大切です。

◇情景が書かれている例文

① 窓を開いて外の景色を見ていると、

空一面、灰色の雲でおおわれていた。

*登場人物の不安な気持ちや、これから嫌なことが起こりそうな雰囲気が感じられます。

◇人物の気持ちを想像させる表現

① 人物の行動

姉は ドアを勢いよく閉めて、出て行った。 ↓ 怒り

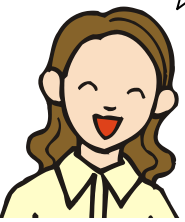
② 気持ちを表す文末表現

これからはもっと練習しようと思った。 ↓ 決意

情景描写から想像できることや、登場人物の言動に表われている気持ちを考えながら、読み進めたいきましょう。



だんだんと文章が難しくなってきましたが、登場人物の気持ちがいろいろな表現で表されているので、小説などは、読むのが面白いですね。



単元名	年 組 番	2問
三年 物語・小説（描写・表現）	氏 名	

◇次の文章を読んで後の問に答えなさい。

「もういいんじゃない、諦めたら。」
 ぼつり。つぶやいた。①その声が、あまりに低く重いせいか、太郎はラケットを手入れしている手を休めて、姉の顔を見つめてしまった。②夕日の光が、木で遮られて、部屋の中が暗く沈められた感じになった。

「今、なんて言ったの？」

「諦めたら、って言ったのよ」

「諦めるって、今度の大会に出ること？」

太郎はラケットをじっと見つめながら、考え込んだ。姉は言葉を続けた。

「足のけがはあなたが思っているほど軽くはないのよ。」

1 ①「その声が、あまりに低く重いせいか、太郎はラケットを手入れしている手を休めて、姉の顔を見つめてしまった」とありますが、この描写から感じられる太郎の思いを、次から一つ選びなさい。

() ()

- ア 姉が自分の思いを理解してくれないので怒っている。
- イ 姉が自分の思いを的確に言い当てたので驚いている。
- ウ 姉が自分の話そうとすることの真意を確かめようとしている。
- エ 姉が自分に指図することをつつとうしく感じている。

2 ②夕日の光が、木で遮られて、部屋の中が暗く沈められた感じになった。という描写は太郎のどのような気持ちを表していますか。次から一つ選びなさい。

() ()

- ア 重苦しい気持ち
- イ 穏やかな気持ち
- ウ 晴れやかな気持ち

単元名		年 組 番
三年 物語・小説（描写・表現）		
氏名		3問

◇次の文章を読んで後の問に答えなさい。

一馬はカブトムシを見つけようと林の中に入っていった。一馬は木の幹をじっと見ていた。とたんに、上から見下されているような視線を感じた。丸く黒い目がじっと一馬を見ていた。とても大きな角だった。これまでに見たこともない、ものすごく大きなカブトムシだった、一馬は面食らった。じつとカブトムシに見入っていた。「見つけた！」と叫んだり、虫取り網を構えたりすることすらできなかった。カブトムシは、少し背伸びして手を伸ばせば届くところにいた。真正面から一馬を見つめていた。大きな面構えだった。体はつやつぱく6本の脚の爪ががっしりと木の幹をつかんでいた。一馬はいきをするのも忘れてカブトムシに見入っていた。カブトムシも逃げようとはしなかった。一馬とカブトムシは、互いに（ ）見つめあっていた。

一馬は大きく息を吸いこんだ。「見つけた……」一馬はつぶやくように言った。驚きが大きすぎたのだった。しばらく、ぼうっとしていた。「でっかい……、ヘラクレスオオカブトムシ……」一馬は恐る恐る手を伸ばそうとした。手が震えているのがわかった。するとカブトムシは素早く上のほうへ逃げて行った。

1 「カブトムシ」を初めて見つけた時の一馬の衝撃を表している言葉を文章中から五字で書き抜きなさい。

()

2 文章中の（ ）に入る言葉として適切なものを文章中から三字で書き抜きなさい。

()

3 「でっかい……、ヘラクレス大カブトムシ……」の前後で一馬の心情がどのように変化したかを次のように説明した。（ ）に入る言葉を書きなさい。

初めはカブトムシの大きさに対する驚きが心を支配していたが、

あとには（ ）